手をつなぐ

題字　藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉
発行2018年３月1日　〈毎月１日発行〉

滋賀県民主教育研究所
〒520－0052大津市朝日が丘１丁目
11-3 教育文化会館２Ｆ
TEL & FAX　077-525-5364
教育110番　077-523-3715
e-メールshiga.minken@gmail.com
HP;http://shiga-minken.jimdo.com/

振替口座番号(会費振込にご利用ください)
①ゆうちょ銀行／記号番号01070-5-40576
②滋賀銀行本店営業部／普通口座511256
加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

民主主義って何だ？これだ！

「市民の会しが」事務局長　對月慈照

２０１５年、記録的に暑かったあの夏、私は延べ二十日間国会議員会館に通い、１００人ほどの国会議員を訪ねて回った。安保法案について「自分の頭でしっかり考えてほしい、勇気をもって反対の声をあげてもらいたい」と訴えるためである。陳情の後は、国会前の集会に参加した。９月18日から19日にかけて参議院で強行採決が行われたその時も、国会正門前で廃案を訴えつづけるSEALDsの集団の中に身を置いていた。若者らしい歯切れのいい彼らのコールはどれも心にすっと届く。中でも、「民主主義って何だ？これだ！」が私のお気に入りだった。

政治的混迷をつづける今、時代は私たちそれぞれに、「民主主義って何だ？」と鋭く問いかけてきているのではないか。

去年の衆議院選挙はまるで嵐のようだった。手間暇掛けてつくりあげてきた野党共闘が、民進党の希望の党への合流という背信的行為により一夜にして崩されるという危機に直面した。しかし、私たち「市民の会しが」と立憲３野党とのぎりぎりの話し合いで、これまた一夜にして新たな共闘の枠組みを４つの選挙区でつくりあげることができた。そして、議論の中で、私自身も「市民と野党の統一候補」として第２区で立候補することになった。

公示直前の立候補で準備の時間がなかったこと、無所属候補に不利なようにできている公職選挙法の問題点、さらに他の候補たちの目に余る選挙違反などもあり、想像以上に大変な選挙戦を強いられた。結局、私の力不足で非常に厳しい結果になってしまい、物心両面にわたり選挙を支えていただいた方々、支援していただいた方々に対して申し訳ない気持ちでいっぱいだ。しかし、野党共闘の火が消えようとしたその時、みんなの知恵と真剣な議論によって出した「これだ！」の返答は間違っていなかったと思っている。

最近、若い世代に対する批判的な言説をよく目にする。選挙への意識についても、彼らの保守的な傾向が問題視されたりする。しかし、若者たちは、大人が何に価値を求めているか、大人の哲学はどのようなものか、結果として時代はどうなっているのかを、空気として体全体で感じ取りながら自分の暮らし方や生き方をつくっていく。彼らの振る舞いは、私たちの姿を映し出す鏡のようなものだ。

若者云々の評論家的視野でなく、一人ひとりが「自治する市民」「権利を行使する主体者」になりきり、状況からの問いかけに「私の応答はこれだ！」と勇気と責任を持って態度表明していく。この国の確かな未来はそこから拓かれる思う。

韓国のキャンドル革命につづき、安倍改憲を市民の力で阻止する「成功体験」を歴史に刻もう。希望は、まだ私たちの掌の中にある。

（たいげつじしょう）

《 今月の紙面 》

・民主主義って何だ？これだ！／對月慈照・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
・学童保育の生活とは何かが問われているいま／竹中真美・・・Ｐ2･3
・北朝鮮ミサイル問題を授業で取り上げて／黄之瀬伸子・・・・・Ｐ4･5
・ボランティア日記Ⅱ inウガンダ／西村紀代美・・・・・・・・・・・・・・Ｐ6･7
・【今学校で】卒業するんだね／蔭山瑞希・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

《 2018年３月号　No. 357》